

円借款案件【事後モニタリング】 結果表

国名	バングラデシュ
案件名	通信ネットワーク改善事業

I. 案件概要

(1) L/A 承諾額	80.4 億円
(2) L/A 調印日	2006 年 6 月 29 日
(3) 実施機関	バングラデシュ電信電話庁 (Bangladesh Telegraph and Telephone Board: BTTB)
(4) 事業概要	バングラデシュ主要都市とその周辺において、携帯電話網と固定電話網の相互接続設備、国際交換機、基幹伝送設備などを整備することにより、通信サービスの量的・質的改善を図り、もって民間セクターの発展を通じたバングラデシュの経済成長に寄与する。

II. レビュー/モニタリング結果

(1) 事後評価における課題・指摘の概要
事後評価においては、本事業で拡大したブロードバンドの回線容量に対する接続数が限定的であること、実施機関の財務状況、運営維持管理における体制や技術に一部課題があるとして、以下の指摘や提言があった。
① 実施機関の財務状況について、事後評価時点（2019 年度）で赤字経営が続いていることに関する指摘
② 実施機関における管理職人材不足の解消に向けた教育の仕組みと制度整備
③ GPON (Gigabit Passive Optical Network) サービス加入者不足の解消に向けたマーケティング部門強化・戦略立案
④ 持続可能な導入機器運用に向けたメンテナンス基準・ルールの明確化
(2) 対応結果/今後の対処方針/事業目標の達成見込み
① 実施機関の財務状況については、事後評価時点（2019 年度）では営業損失が 50 億 BDT ほどであったが、直近 2 か年は 13~15 億 BDT と改善傾向にあり、その他利益収入により当期純利益は、2021/22 年度以降、継続的に黒字となっている。
② 実施機関の管理職人材不足については、旧 BTTB が公社化し、バングラデシュ電話通信株式会社 (Bangladesh Telecommunications Company Ltd.: BTCL) への大規模な組織改編に伴い、長らく採用活動を行うことができない状態であった。事後評価時に 2018 年 7 月より採用活動が再開されたことを確認済、その後も正職員を中心に人員の採用が定期的に進められている。また、採用・研修を主管する部署が新たに設置され、定期的に技術研修が提供されていることも確認している。
③ マーケティング部門強化・戦略立案については、高速インターネットの回線容量に対する利用回線数が事後評価時には 3,000 弱にとどまっていたが、その後、外部基地

局の設置をバングラデシュ国内全県対象に進め、広報活動を強化したことで約115,000回線に増えており、事業効果の発現を確認している。

- ④ 持続可能な導入機器運用に向けたメンテナンス基準・ルールの明確化については、事後評価時に適切に利用されていないとされた機材（Remote-AGW や Network Operation Center（NOC））が稼働していることを実施機関に確認済み。特に、本事業で導入された NOC については、職員採用が進んだことで BTCL 内のすべてのネットワークが NOC へ接続し、NOC を通じた通信ネットワークの管理が行われている。それぞれの機材を主管する部門内が、日々の維持管理・運用の責任を負う体制が整備されており、各種マニュアルが整備・保管されていることを実施機関より確認済。

### (3) 教訓

事業の持続的な効果発現のため、機材導入の際には実施機関の維持管理・運用体制や予算手当の状況・手続き詳細を確認した上で、追加対応が必要な事項を明確にし、事業実施中の段階から体制整備等の早期対応を求めることが重要と考えられる。

同様に、効果拡大（回線数拡大等）に向けてのロードマップ策定や戦略に関しても、事業実施中の段階から必要性を提言し、早期対応を求めることが重要。